

『少額の寄付や投資に使う(ファンディング)』

文 小田 玄紀 text by Genki Oda

送金の手数料が安いというメリットを活かして、ビットコインにあなたの気持ちに乗せたり、楽しく使ったりすることもできます。

少額の寄付や投資に使う、というものです。

国内外で発生した大規模災害、途上国での子どもたちの教育、紛争地の医療など、支援金を送りたいと思うことがありますよね。また最近では、ネット活用したクラウドファンディングが注目されており、数億円を超える資金が集まるようになっています。クラウドファンディングとは特定の事業に賛同した人が投資するもので、少額でもできる手軽さから参加する人が増えています。

しかし銀行振り込みでは振込手数料がかかり、500円を寄付する場合でも210〜420円の費用がかかってしまいます。クレジットカードで寄付できる例もありますが、その場合は寄付先がカード会社に手数料を支払うこ



Profile

株式会社ビットポイントジャパン代表取締役副社長
1980年生。東京大学法学部卒業。大学在籍時に起業し、後に事業を売却した資金を元にマッキンゼー出身者らと共に投資活動を始める。
「頑張る人が報われる」をコンセプトにして起業家や社会起業家の事業立ち上げ・経営支援を行う。株式、FX、債権などの投資にも精通し、仮想通貨取引にも携わる。2016年3月に上場会社子会社として初の仮想通貨取引所であるBitpointを立ち上げ、同社代表取締役就任する。

とになり、寄付したお金を丸々使ってもらうことができません。

そこで利用したいのが、ビットコインです。

前述のとおり、ビットコインを使えば送金の手数料はほとんどかからず、街角募金と同じような感覚で、少額でも気軽に寄付や投資ができますし、相手側もコストを抑えることができ、お金が無駄なく活用できるというわけです。

クラウドファンディングの価値は、資金を集めること以上に多数のファンからの支持を集めることにあるのですが、ビットコインを使えば、100円だけ応援したいファンを1万人集めて100万円のプロジェクトを立ち上げ

る、といったこともできるのです。

いかがでしょうか。

ビットコインは、お札や硬貨はありませんが、形のあるお金と同じように使うことができます。使い方によっては、円などの法定通貨より便利に、お得に使うこともできます。

電子マネーはその利便さから、瞬間に生活に浸透していきました。ビットコインの利便性やさまざまなことが低コストでできるといった魅力が理解されれば、使える場面は次第に広がっていくでしょう。

「1時間でわかるビットコイン入門
〜1円から送る・使う・投資する〜」
(株)株式会社インバルスより